

6月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 摘粒

ぶどう一粒が10円玉ほどの大きさになるので、粒同士が押し合って潰れないように、ハサミで余分な粒を間引く。



■ 摘芯

枝が伸びすぎると、枝の生長に栄養が使われてしまい、実に栄養があまり送られなくなるため、伸びすぎた枝の先端や余分な枝をハサミで切り落とす。



活動を行った感想など

摘粒はぶどうの見た目が決まる大事な作業だが、粒が大きくなることを想像しながら行うため、難しくて上手くいかないことも多い。安定して上手くできるように技術を磨きたい。

摘芯は品種によって切る長さが違うので、間違えないように気を付ける。

研修先の農園では、房数が多かったり、枝が入り組んでいる場所があったりして、摘粒や傘かけをやり忘れてしまった部分があった。作業終了後にやり忘れがないか確認するようにする。

今後の目標など

規模が広く、ハウスがたくさんあるため、どのハウスに何の品種があるか早く覚えるようにする。

できるだけ早く空いている圃場を見つけて、独立できるように情報集めをする。

7月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 摘粒

粒同士が押し合って潰れないように粒を間引いた。6月に一度摘粒をしたが全体的に少し粒が多すぎたため、再度摘粒をした。



■ 傘、袋掛け

傘掛けは日焼け防止や雨除けのために、袋掛けはぶどうを病害虫から守るために、摘粒が終わったら行う。袋にはいくつか種類があり、黒系や赤系のぶどうは日に当てて着色を促すために透明の袋、緑系のぶどうは日焼けしないように白や青の袋、他にも収穫時期をずらすなどの目的で色を使い分けた。



活動を行った感想など

1度目の摘粒で粒を多く残しすぎてしまい、再度摘粒をすることになり2度手間になってしまったので、今回の反省を活かして今後は一度で房型を整えられるようにしたい。

袋をかける時、閉め口の締めが甘かった。閉め口が緩いと雨や虫が入ってきてしまうので、しっかりきつく締めるように心がけたい。

8月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 道の駅出荷

道の駅に出すぶどうの袋詰め、値段シール貼り、陳列などの出荷作業を行なった。どの品種がどのくらい売れているかや包装の仕方、値段などを見ることができ参考になった。



■ 摘芯

実に養分を送るために、伸びた脇芽をハサミで切り落とした。摘芯をすることで実の成熟や着色を促すことができる。



活動を行った感想など

道の駅にはたくさんのぶどうが並んでいて、その中でどうやって自分が出したものをお客さんに選んでもらえるかを考えないといけないと思った。単純に値段を下げれば買ってもらいやすくなるが、その分売上も下がってしまうので、価格競争をするのではなく、どうすれば値段を下げなくても買ってもらえるかの工夫をしていきたいと思った。

9月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 道の駅店頭販売

道の駅の外で店頭販売をした。陳列に気をつけて遠くからでも見やすいようにポップをつけるなどの工夫をした。テントの設営場所によっても売り上げが全然違い、日によって場所を変えて試してみたが、結局ベストポジションは直売所の出入り口の目の前であることがわかった。



活動を行った感想など

店頭販売では対面で直接お客さんとコミュニケーションをとることで、どういう人が買いに来てくれているかや、どんなぶどうを求めて買いに来ているかを知ることができ、その人にあったぶどうをおすすめすることができた。品種や味の説明を言葉で上手く伝えないといけないところが難しかったが、たくさんの人が買いに来てくれたので嬉しかった。

今後の目標など

土づくりや剪定など、冬に行う仕事を1カ所ではなく、いろんな人のやり方を見る。

読書で知識を深める。

できるだけ早く独立したいと思っているので、冬の間に畑を見つけられるように情報を集める。

10月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 摘芯

収穫後の秋から冬にかけては、来年の春に向けて樹が養分を蓄える時期のため、枝が秋に伸びて養分を消費しないように、余分な枝を切り落とした。

葉が落葉し始めていて、休眠の準備を始めているのが目で見てわかり、これから寒くなって冬が始まることを作業しながら実感した。



■ 雨除けハウスのビニール剥がし

畑によっては100m程もある長さのビニールを一人で引っ張って剥がしたので、腕が痛くなってとても大変な作業だった。雨除け栽培のビニールは2年ごとに張り替えるため、研修先では4箇所ある雨除けハウスの2箇所ずつを毎年交互に張り替えを行っている。この作業を一人でやるのは大変なので、自分が就農したら近所の農家さんたちと協力して、各圃場を回りながらできたらいいと思う。



活動を行った感想など

草刈機などの機械を使うことが多いが、機械の調子が悪い時に何が原因かわからなくて困ることがあるため、機械の知識も身につけて、簡単なメンテナンスくらいは自分でできるようにしたい。

普段写真を撮る習慣があまりなく、活動報告やSNS用の写真をいつも撮り忘れてしまうので、情報発信や自己PRすることも意識して積極的に写真を撮るように気をつける。

今後の目標など

土地探しを本格的に始めた。この冬の間に畑を見つけて、早く自分で栽培できるようにしたい。また、来月から剪定が始まるが、長梢剪定をしたことがないので、やり方をしっかり学びたい。

11月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ビニールハウスのメンテナンス

古いビニールは、汚れにより光合成効率が落ちたり、保温効果が弱まったりするので、およそ4～5年で張り替えを行う。シワにならないように強く張らないと、風に飛ばされやすくなるので、シワができないように気をつけながらビニールを留めた。



■農業簿記講座

オンラインと対面で農業簿記について教わった。

オンラインの講座では、教科書を見ながら簿記の基礎について学び、対面の講座では、実際に会計ソフトを使い、帳簿への入力方法などを教わった。この講座で学んだ知識を確定申告の際に役立てたい。

活動を行った感想など

ビニール張りの作業をしながら、どのような資材がどのくらい必要か、どのメーカーを使っているかなどを見て、独立時の参考にすることができた。

今後の目標など

ビニールを張る作業は一人ではできないので、一緒にやってもらえる仲間を今のうちに作っておく。

家計簿を会計ソフトでつけるなどして、今のうちから会計の勉強をする。